

“内科医に必要なのは
ジェネラルな視点”

内科専攻医募集案内

INTERNAL MEDICINE

ACCESS

地方独立行政法人 堺市立病院機構

堺市立総合医療センター

〒593-8304 大阪府堺市西区家原寺町1丁1番1号

TEL:072-272-1199 (代表)

FAX:072-272-9911 (代表)

- JR阪和線津久野駅より徒歩約5分
- 阪和自動車道「堺IC」より約10分
阪神高速道路15号堺線「堺出口」
高架道を出口まで進み
国道26号線より約15分



<https://www.sakai-city-hospital.jp/>

大阪 難波 天王寺 津久野

- 天王寺まで約25分 ●難波まで約40分
- 大阪まで約50分



病院見学・オンライン 個別研修説明会のご案内

堺市立総合医療センターでは、病院見学や
オンラインによる説明会を実施しています。
詳しくはWEBサイトをご覧ください。



〈問い合わせ先〉

臨床教育研究センター

TEL:072-272-9950 FAX:072-272-9911

E-mail:rinkyo@sakai-hospital.jp



INTERNAL
MEDICINE

内 科

WEBサイトはこちら



ジェネラルな視点を持ったスペシャリストであること。

それが、私たちの誇りです。

当院は南大阪の基幹施設として救急医療や高度専門医療を担うことはもちろんのこと、臨床教育にも力を注いできました。

内科後期研修医については、2004年度からは内科各専門領域のローテート研修を開始するとともに、専門領域間の垣根がない横断的な診療を通して、総合力を備えた専門医を育成してきました。

当院には「教え教えられる文化」の中で切磋琢磨しながら成長できる環境があります。

全国から意欲ある専攻医を募集しています。

院長あいさつ

幅広い臨床実践能力と「人間力」のある医師を育成

当院では「優れたジェネラリストでなければ、スペシャリストにはなれない」をスローガンに、幅広く診療できる医師を育成すべく、複数の専門領域をローテーションする研修体制を採用し、臨床研修を行ってきました。幅広い臨床実践能力を身につけ、“地域や市民に貢献できる医療を提供したい”という心を研修を通じて伝えていきたいと思えます。また、指導医、研修医が一丸となって臨床現場で患者さんの治療にあたることにより、指導医も研修医ともに成長できるという「教え、教えられる文化」という言葉を合言葉に教育マインドを大切にしています。

今後、求められるのは医療の知識やスキルだけでなく、「人間力」を持ち合わせる医療人です。色々なアイデアをチームで話し合い、互いに高め合いながら、「人間力」のある医師を育成していきたいと考えています。超高齢社会の到来により、病院内で実践される急性期治療を通して地域住民の健康を維持するためばかりではなく、医療と介護の連携や、地域住民の健康意識の改善・疾病予防への取り組みなど、時代や地域が必要とする医療を肌で感じてください。そして、来たるべき少子高齢化社会における理想的な急性期・臨床研修病院をともに創り上げていきましょう。

病院長
大里 浩樹



01

☑ 内科専攻医の育成方針

大学病院にも劣らない、数多くの専門科を備えている当院で、ジェネラルな視点の医療人を育成します。



総合力を備えた内科医を育成します

各専門領域へのローテート研修が基本ですが、複数領域にまたがるプロブレムをもつ症例に対して、他領域の専門医から指導をうけながら、総合的に診る経験をさせていただきます。また総合診療外来、救急外来研修では、病状に応じて、問診、身体診察、検査などを駆使して、より迅速に診断できる力を身につけ、3年間の研修で総合力を備えた内科医を育成します。



全人的な医療を実践できる内科医を育成します

症例のある時点で経験するだけでなく、主担当医として入院から退院まで経時的に経験していただきます。また、医師、看護師、薬剤師、栄養士など多職種でのカンファレンスの中で、チームをまとめる役割を担っていただきます。患者さんの身体的な状態だけでなく、社会的背景、療養環境などに配慮した全人的な医療を実践できる内科医を育成します。



地域連携を実践できる内科医を育成します

地域医療研修を通して、急性期医療だけではなく、回復期リハビリなど在宅療養へ向けた取り組みや、終末期を迎えた患者さんへの緩和ケア、在宅診療など、より患者さんの生活に近いところで医療を経験していただきます。急性期、慢性期のいずれも学び、超高齢社会を迎えた日本の医療事情を理解することで、地域の実情に合わせた医療を実践できる内科医を育成します。

内科専門研修プログラム統括責任者あいさつ

ジェネラルマインドを持ったスペシャリストを育成します

私が育てたい内科医は「ジェネラルマインドを持ったスペシャリスト」です。自らの専門分野にとどまることなく、患者さんが抱えている問題を大きく把握し、優先順位を考えることで、その方に最適な医療を提供できる医師。それが、超高齢社会の日本で求められる内科医像だと考えます。そのためには、基礎的な内科力と総合的に判断する力が必要です。当院では10年以上前から内科専攻医を受け入れ、ローテートシステムにより内科の土台作りを行ってきました。全国の「ジェネラルマインドを持ったスペシャリスト」を目指す専攻医の皆さんとともに診療できる日を心待ちにしております。

内科専門
研修プログラム
統括責任者
西田 幸司





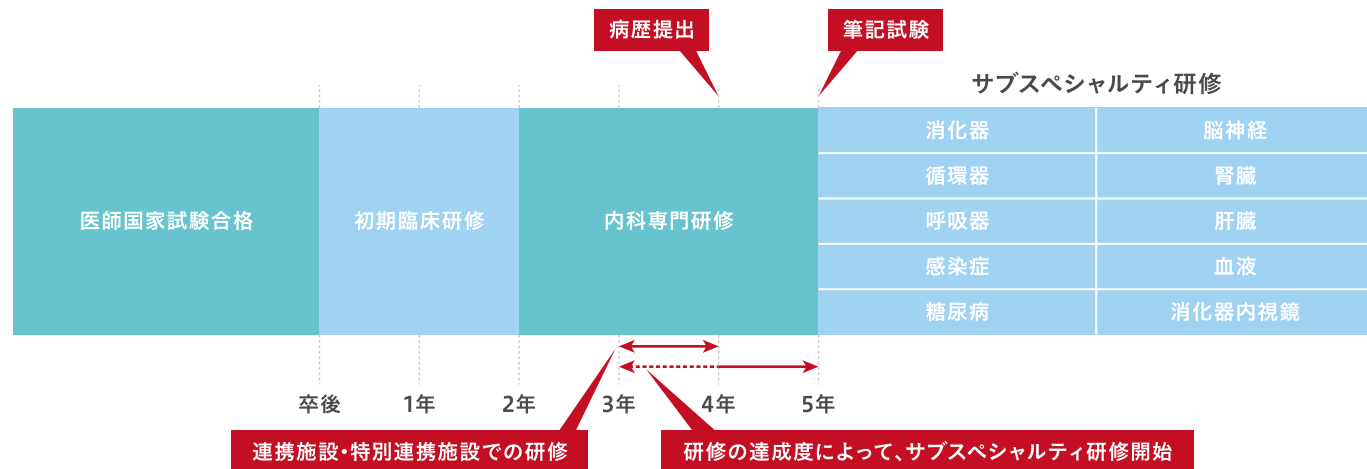
02

☑ 内科専門研修プログラム

基幹施設となる当院で2年、連携施設と特別連携施設合わせて1年、計3年間の研修プログラム。急性期医療だけでなく、在宅医療など幅広く研修を行います。

認定内科医・サブスペシャリティ専門医取得の流れ

当院は内科系15学会のうち10学会の教育施設に認定されており、3年間の内科専門研修終了後、または内科専門研修の後半に、各専門内科での研修を開始し、サブスペシャリティ専門医の取得を目指すことが可能です。



専攻医1年次

当院の各専門内科をローテート

各専門内科を3か月毎にローテートします。総合内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、腎臓内科、糖尿病内科、脳神経内科、感染症内科、集中治療科の10科でローテート可能です。

専攻医2年次

連携施設・特別連携施設での研修

連携施設では当院と異なる環境での急性期医療を研修をします。特別連携施設における地域医療研修では、地域包括ケア、緩和ケア、回復期リハビリテーション、在宅医療などを研修します。

専攻医3年次

ローテート＋サブスペシャリティ研修

堺市立総合医療センターでの内科ローテートに加えて、研修達成度によって、サブスペシャリティ研修が開始可能となります。

〈スケジュール例〉

専攻医1年次											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ローテート科①			ローテート科②			ローテート科③			ローテート科④		
専攻医2年次											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
連携施設・特別連携施設での研修											
専攻医3年次											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ローテート or サブスペシャルティ研修											
総合内科	呼吸器内科	循環器内科	消化器内科	血液内科	腎臓内科	糖尿病内科	脳神経内科	感染症内科	集中治療科		

→ ローテート可能な診療科目 10科から選択 ←

03

☑ 内科専門研修の特徴

各専門科間の垣根が低い当院では、専門領域外の学習をする機会があり、総合力を備えた内科医を養成する土壌があります。

総合診療外来研修



総合的な内科診療を行う指導医とマンツーマンの研修

総合診療外来は、内科専攻医が担っています。我々の仲間に加わっていただくために、専攻医1年次に指導医とマンツーマンでの外来研修を開始します。そして約半年の研修後に独り立ちして総合診療外来枠を担えるまでに段階的に実践を繰り返します。

集中治療科研修

年間700症例の重症疾患の管理を学ぶ環境下で

集中治療室8床を指導医とローテート研修医で運営している集中治療科。年間約700症例の約半数が内因性重症患者（重症心不全、重症肺炎、ARDS、敗血症性ショック、重症膵炎など）と症例数は豊富です。各専門内科と協力しながら、重症患者の管理方法や集中治療を学び、内科の知識を習得することができます。



救急外来研修・当直

症例豊富な救急外来でファーストタッチから集中治療まで

全国トップクラスの救急搬送受入数を誇る救急外来。内科医・救急外科医・集中治療医が協力してファーストタッチから入院後治療・集中治療までを担当します。専攻医1年次は、平日日中の週1～2コマを救急搬送患者の診療と、救急外来当直でサブ当直医としてリーダー当直医（専攻医2年目以上）の指導のもと、内科患者の診療を行います。専攻医2年次以降は、リーダー当直医として初期研修医、1年次専攻医を束ね、救急外来業務のマネジメントも行います。

入院後の管理は、当直チームで対応

救急外来

リーダー当直医：1人
サブ当直医：1人
初期研修医：2人

病棟

内科当直医：1人

ICU

ICU当直医：1人



03 内科専門研修の特徴

豊富なカンファレンス

内科合同の症例検討会や抄読会、カンファレンスなどが充実しています。

堺市立総合医療センター内科 週間予定					
時間	月	火	水	木	金
7:30					
8:20		抄読会		退院症例検討会	
12:15		救急症例検討会	スタッフレクチャー	救急フィードバック	専攻医レクチャー
16:30				症例検討会	
17:00	内科レクチャー				

内科レクチャー

内科各科持ち回りで「内科医としてこれだけは知っておいてほしい」という内容を30分でレクチャーします。

退院症例検討会

病歴要約の形式でプレゼンテーションします。この中から日本内科学会地方会の演題が誕生しています。

症例検討会

内科各科が病歴・身体所見から症例提示し、質疑応答を重ねながら診断にたどり着く過程を学びます。



院外講師

2021年度	洛和会丸太町病院 救急総合診療科 上田 剛士 先生	福井大学医学部附属病院 総合診療部 林 寛之 先生
2020年度	橋本市民病院 総合内科 橋本 忠幸 先生	飯塚病院 総合診療内科 清田 雅智 先生
2019年度	名瀬徳洲会病院 内科 平島 修 先生	大阪医科大学附属病院 総合内科 鈴木 富雄 先生

専攻医主催イベント



6月 堺感染症セミナー&堺臨床道場



11月 院外講師招聘&研修医総会



1月 研修医旅行

先輩研修医メッセージ

内科だけでなく他科の勉強会に参加し幅広い視点を養える環境がある

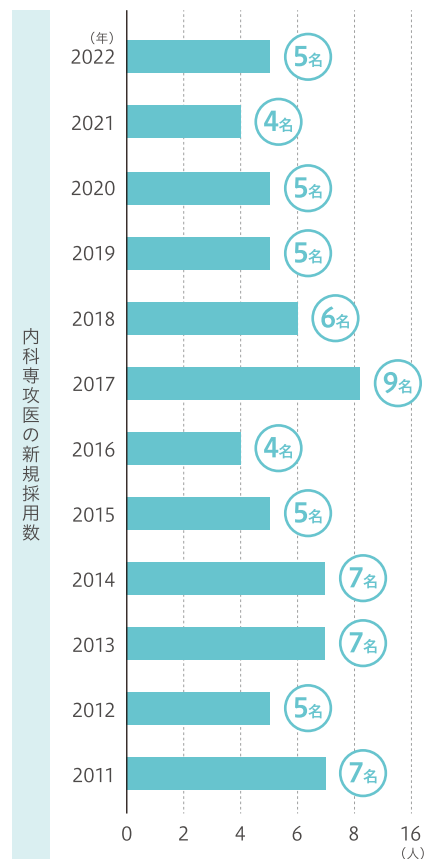
内科医になるにあたって、一通り内科全般のことを知った上で目指す方向を決めたいという思いがあり、身体全体を診ることができる当院を選びました。症例も豊富で、各科の基礎となる部分を研修を通して経験することができます。また、勉強会の頻度も多く、当院では所属以外の科の勉強会にも参加でき、他科の先輩医師から指導を受けられるのも魅力の一つです。研修医の士気も非常に高く、お互い切磋琢磨しながら、常に学び続ける環境があります。私も後輩に教えられることはないかと常にそういう視点を持ちながら、日々の診療にあたっています。当院で臨床医としての経験を積みながら、一緒に研修を作り上げられるような方にぜひ来ていただきたいです。

内科 専攻医
河村 勇志

04 内科専攻医の採用実績

当院では、10年以上にわたり内科専攻医を積極的に採用。明日の医療を担う若手医師の育成に尽力しています。

実績



臨床研修センター長メッセージ

臨床研修センター長
花房 俊昭

当院の研修理念の根幹は、「優秀なジェネラリストでなければ優秀なスペシャリストにならない」です。皆さんがどんなsubspecialtyの専門医を目指しているにせよ、例えば内科であれば、内科の幅広い領域の知識や経験・技術を基盤にして専門医になるのであれば、これからの時代、いかなる分野でも活躍できません。この考えは、現行の新医師臨床研修制度の目指している理念そのものですが、当院は何十年も前から、この精神で研修医教育の歴史を重ねてきました。そして毎年常に研修プログラムを刷新し、新たな気持ちで研修医を受け入れています。「堺で後期研修して本当によかった」と皆さんに心の底から実感していただけることをお約束します。百聞は一見に如かず。是非、当院に見学に来て下さい。

全人的・総合的に見る力が
体得できる
充実した教育システム

INFORMATION 病院概要

診療科

総合内科／循環器内科／呼吸器内科／消化器内科／血液内科／心療内科／腫瘍内科／腎臓内科／糖尿病・内分泌・代謝内科／脳神経内科／リウマチ膠原病内科／感染症内科／人工透析科／救急・総合診療科／救命救急科／消化器外科／心臓血管外科／呼吸器外科／乳腺内分泌外科／集中治療科／麻酔科／中央手術科／脳神経外科／整形外科／リハビリテーション科／泌尿器科／耳鼻咽喉科／頭頸部外科／皮膚科／形成外科／眼科／歯科口腔外科／小児科／産婦人科／放射線診断科／放射線治療科／病理診断科／臨床検査科／内視鏡科／遺伝診療科／予防健診科／緩和ケア科

病床数

487床(一般450床・救急救命センター30床・感染症7床)

各種指定等

DPC特定病院群、地域医療支援病院、大阪府指定三次救急医療機関、臨床研修病院、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、感染症指定医療機関(第一種、第二種)、エイズ診療拠点病院、日本医療機能評価機構認定病院、卒後臨床研修評価機構認定病院

認定施設一覧 (内科関連)

日本救急医学会認定救急科専門医指定施設／日本救急医学会認定指導医指定施設／日本集中治療医学会認定専門医研修施設／日本内科学会認定医制度教育病院／日本消化器病学会認定医制度認定施設／日本消化器内視鏡学会認定指導施設／日本臨床腫瘍学会認定研修施設／日本神経学会専門医制度教育施設／日本呼吸器学会認定施設／日本循環器学会認定循環器専門医研修施設／日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設／日本腎臓学会認定研修施設／日本肝臓学会認定施設／日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設／日本リウマチ学会認定教育施設／日本血液学会認定医研修施設／日本がん治療認定医機構認定研修施設／日本静脈経腸栄養学会認定NST稼働施設／日本栄養療法推進協議会認定NST稼働施設／日本糖尿病学会認定教育研修認定施設／日本透析医学会専門医制度教育関連施設